

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和2年度第1回武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
開 催 日 時	令和2年8月21日(金) 午後2時00分 ~ 午後4時05分
開 催 場 所	市役所4階 401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：倉持会長、森林副会長、内野委員、北原委員、齋藤委員、植村委員、高橋委員 事務局：企画政策課長、企画政策課係長、企画政策課主任
報 告 事 項	○ 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱及び運営要領について
議 題	1 副会長の互選について 2 令和元年度地方創生関連交付金活用事業評価について 3 令和元年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	1 副会長については、森林委員に決定する。 2 2つの事業いずれも地方創生への効果はあるものとする。 ただし、課題に対する施策などについては、今後の検討課題とする。 3 推進委員会からの意見を集約し、所管課へ確認後、委員へフィードバックすることとした。 4 特になし。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	報告事項 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱及び運営要領について (事務局) 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱及び運営要領について、会議資料1及び2に基づき報告した。 —質疑・意見等— (委員) 特になし。 議題1 副会長の互選について (事務局) 副会長については、設置要綱第4条第1項の規定により委員の互選で選任する旨説明した。 また、自薦及び他薦がなかったため、昨年度まで副会長であった森林委員に引き続き副会長をお願いする旨提案した。 (委員) 賛成 議題2 令和元年度地方創生関連交付金活用事業評価について (事務局) 会議資料3及び3-1に基づき平成28年度地方創生拠点交付金(令和元年度実施)に係る事業実施結果報告(交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)について説明した。 —質疑・意見等— (委員) かたくりの湯入場者数について、開館当初(平成18年度から19年度)は約25万人来場していたが、令和元年度は、

	<p>約15.6万人まで減少している。</p> <p>平成18年度から20年度の市外からの入場者数は、把握しているか。</p> <p>(事務局) 現在の手持資料ではお答えできない。</p> <p>(委員) 市外からの入場者については増やしていくべきだが、市内の利用者が少ないと感じるため、市内の利用者を増加させていく必要もあると思う。</p> <p>市内利用者を増やしていくための政策が弱いと思う。</p> <p>市内利用者を増加させていくための取組を実施しているのか。</p> <p>(事務局) 入場料が安いなどはあるが、市内利用者をピンポイントにした施策はあまり聞いたことがない。</p> <p>(委員) 今年度、新型コロナウイルス感染症の影響で収益が望めないため、運営を指定管理者が辞退したいとの話を聞いた。</p> <p>その際にそれぞれのNPOの強みを活かして、市内のNPOネットワークで運営したら、民間施設とは異なる市民のための温泉施設運営ができると話をしていた。</p> <p>指定管理者の変更の際には、市民に根差した温泉施設の運営を行うため、市内NPOネットワークを活用した新しい温泉施設運営も検討いただきたい。</p> <p>(事務局) 温泉施設運営に関して、森林委員から資料提供をいただいた。本日、机上配布させていただいている。</p> <p>(委員) 施設の老朽化や近隣に温泉施設ができた影響で入館者数などが右肩下りの状況からV字回復を狙っているという趣旨の資料である。</p> <p>現在は、施設運営を指定管理者制度から民間の温泉施設運営会社への委託に変更しており、キャンプ場等の付帯設備を整備し、運営している。</p> <p>市民のためになり、さらに市外の方を呼び込むことで、総合戦略に記載のあるかたくりの湯の施設運営ができれば良いと思う。</p> <p>(委員) 課題を記載しているが、課題に対する解決策が出ていない。</p> <p>今までと同じことを実施しては、課題は課題のままである。違う観点から事業を実施する必要があると思う。</p> <p>例えば、かたくりの湯を拠点としたキャンプ場や宿泊施設、レジャー施設などを整備し、近隣の方をターゲットにすれば良いと思う。</p> <p>また、令和2年度予定の事業は、「食の充実」と記載があるが、温泉と直接結びつきづらい。課題に対する施策について、ポイントを絞って実施した方が良い。</p> <p>(委員) 自治会に入会するとカードを頂け、そのカードを持参すれば割引を受けられる制度がある。本制度をもう少しうまく活用すれば、市内の利用者も増えると思う。また、それと合わせて自治会の入会者も増えれば、地域の繋がりなども良くなると思う。</p> <p>(事務局) 自治会連合会が自治会員カードを作成し、自治会に入会している人に配布している。かたくりの湯だけでなく様々な施設で割引などを受けることができる。</p> <p>(事務局) 委員から頂戴した新しい運営方法など課題に対する解決策を検討していく必要がある。頂戴した意見等は集約し、所管課へ伝えさせていただく。</p> <p>(委員) かたくりの湯については、第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の際にも時間をかけて議論した部分である。ま</p>
--	--

	<p>た、地域の方が主体となって活躍する場にもなる可能性もある。</p> <p>次年度からは第二期総合戦略になるが、今回の意見等はここで終わりにせず、所管課等適切な場所へ繋いで、それぞれ検討してもらいたい。</p> <p>次期総合戦略を策定する時まで、検討を開始することは難しいのか。</p> <p>(事務局) 年度ごとの計画については、単年度ごとに検討はできるため、かたくりの湯に限らず、頂いた御意見は、新たな施策として所管課へお伝えさせていただき、事業が進んでいけば良いと考えている。</p> <p>(委員) 目的としては売上を上げたいわけではなく、入場者数や市外の方の来場者を増やしたいということで良いか。</p> <p>(事務局) そのとおり。</p> <p>指定管理者との契約では、指定管理料は支払っていない。また、入場料などを活用し、運用してもらう方式のため、売上は市に入っていない。</p> <p>ただし、売上が上がるということは、来場者が増えているということだと思っているので、地域の活性化に繋がる観光施策だと考えている。</p> <p>売上についても、目標とした方が良いとお考えか。</p> <p>(委員) 収支が赤字のため、一般企業ではありえない事業である。</p> <p>発想を転換し、売上を上げるため、高級な施設にするなど付加価値を付けて、入場料を高く設定すれば、売上は上がると思う。ただし、来場される方は限られるため、入場者数は減少すると思われる。</p> <p>思い切って売上を上げることに専念する方法を実施すれば、今まで本市に来たことがなかった人にも来てもらえるなど違った効果もあると考えられる。</p> <p>どこにフォーカスを当てていくのかが重要だと考えている。</p> <p>何を目的に事業を実施していくのかを明確にするべきである。</p> <p>(委員) 令和2年3月の来場者は、新型コロナウイルス感染症の影響で少なくなっているが、4月から8月で3月より少ない時期もあるのか。</p> <p>(事務局) 閉館していた時期もあるため、少ないと思われる。</p> <p>(委員) そもそも事業として、運営していけるのか。指定管理者は、事業を継続できるとプランを立てているのか。それとも、市から補助金などの支援を実施する予定なのか。</p> <p>(事務局) かたくりの湯に限った話ではないが、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業収入は減少している。</p> <p>その部分については、国の交付金などを活用するなどの話もあるため、市と指定管理者で調整中であると思われる。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症が収束した後についても、現在の指定管理者については、事業を継続していただけるため、事業継続の目途は立っていると解釈している。</p> <p>(委員) コロナ禍の影響で、ビジネスモデルのあり方が変わってきているため、人数ありきのビジネスモデルは難しい。そのため、指定管理者に対する新しいビジネスモデルを確立するための支援が必要であると考えため、検討いただきたい。</p> <p>(委員) 入場者数の制限はしているのか。また、制限している状態での収支は分かるか。</p> <p>(事務局) 入場者数の制限やロッカーの使用制限をしている。収支につ</p>
--	---

	<p>いては、資料がないため申し上げられないが、新型コロナウイルス感染症による影響があるため、赤字の可能性が高いと考える。</p> <p>(委 員) 赤字は、指定管理者が負担しているのか。また、施設の修繕費や施設の使用料はどうなっているのか。</p> <p>(事 務 局) 運営についての赤字は、指定管理者負担である。施設の修繕の負担については、工事金額にもよるが、大規模な修繕は市が負担している。なお、施設の使用料は頂いていない。</p> <p>(委 員) 所管課や指定管理者を巻き込み、今後、どのように運営していくか検討いただきたい。</p> <p>(委 員) 指定管理制度を活用してから何年くらい経つのか。</p> <p>(事 務 局) 平成19年度から指定管理制度を導入している。</p> <p>(委 員) 観光協会は、本市における観光施策においてポイントになると考えているため、しっかりと連携することが重要であると考えている。 観光協会の中でのかたくりの湯の位置付けはどのようになっているのか。</p> <p>(事 務 局) 観光協会については、新型コロナウイルス感染症の影響で設立総会を開催できていない状況のため、まだ、動き出していない。今後、動き出すとすれば、かたくりの湯や野山北公園周辺は観光エリアになると思われるため、かたくりの湯についても観光施策には絡んでくると考えている。</p> <p>(委 員) かたくりの湯については、他の会議でも話題になるのか。</p> <p>(事 務 局) 長期総合計画を策定中であるが、観光施策の中で同様の話はある。</p> <p>(委 員) 各課の協働や官民連携なども必要であると考えてる。</p> <p>(事 務 局) 会議資料4等に基づき令和元年度地方創生交付金に係る事業実施結果報告（交付対象事業の重要評価指標（KPI）の実績値等）について説明した。</p> <p>－質疑・意見等－</p> <p>(委 員) モニターツアーに参加された方をきっかけに、魅力マイスターが紹介した場所などにどのくらいの人を連れてきたのか。モニターツアー後の波及効果の有無がモニターツアーの効果の指標になると考えている。</p> <p>(事 務 局) 所管課には聞いていないが、モニターツアー後に参加者と連絡を取ったりはしていないと思われる。</p> <p>(委 員) SNSを見てくれた人の数は分かるのか。また、SNSを見て来た人の数は分かるのか。</p> <p>(事 務 局) SNSで閲覧数は公表されていない。また、SNSを見て来た人をカウントする仕掛けもない。</p> <p>(委 員) 現在のやり方では、効果があったのか分かりづらい。そのため、今後は、SNSを見て来た人に対して、割引などを実施すれば、効果が分かるのではないか。 また、モニターツアー参加者も多くはなかったと思う。</p> <p>(事 務 局) モニターツアーについては、定員を設定している。応募については、定員数以上の申込みを頂いたと聞いている。定員については、観光バスが細い道に入れなかったことなどを理由に設定している。</p> <p>(委 員) 魅力教養隊の市以外からの発信については、どのようにカウ</p>
--	---

	<p>ントしているのか。</p> <p>(事務局) 「#MM教え隊」の投稿数から、市役所が発信した「#MM教え隊」の投稿数を差し引いた数である。</p> <p>(委員) 魅力教え隊は何人いるのか。また、発信者数は分かるのか。</p> <p>(事務局) 令和元年度実績は555人である。また、誰が何回発信しているかの数字は把握していない。</p> <p>(委員) 魅力教え隊のKPIの数値は、本事業に係る投稿だけか。他の内容で発信している場合もあると思われる。</p> <p>(事務局) 「#MM教え隊」となっている投稿であれば、内容は問わずカウントはされている。</p> <p>(委員) 事業概要には、魅力教え隊や魅力マイスターの記載もあるが、実施内容についての記載はモニターツアーのみである。実施内容に追記できないのか。</p> <p>(事務局) 所管課と調整する。</p> <p>(委員) ムサブアプリの登録者数を教えてほしい。</p> <p>(事務局) 令和元年度で463件である。また、累計は約1,000件である。</p> <p>(委員) 本事業は、今年度以降も継続するのか。また、交付金等を活用するのか。</p> <p>(事務局) 実施内容に変更はあると思われるが、観光協会の事業として実施する予定である。また、議題である地方創生交付金の活用は令和元年度で終了しているため、地方創生への評価については、今回で終了である。</p> <p>(委員) 魅力教え隊や魅力マイスターが何をしているか分からない。情報館えのきなども含めて人目を引くような施策を検討する必要があると考える。</p> <p>(事務局) 情報館えのきのあり方については、所管課で検討をしているところだと聞いている。情報館えのきから情報を発信できるかについては、検討課題であると考えている。</p> <p>(委員) アンケートを見ると、色々な場所から参加いただいているので、効果はあるのではないかと思う。</p> <p>議題3 令和元年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</p> <p>(事務局) 資料5及び5-1, 5-2, 5-3, 5-4に基づき令和元年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について説明した。</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>基本目標1</p> <p>(委員) 空き店舗活性化事業への支援について、「市独自の支援（補助金等）を検討していく必要がある。」と記載があるが、進展はあるか。また、どのような支援を検討しているのか。</p> <p>(事務局) 補助金に加え、空き店舗状況の把握については、検討しているのではないかと考えている。また、集約した情報の発信についても、検討していると考えている。</p> <p>(委員) 広報の方法が記載されていないため、利用を促す施策を作る必要があると考える。情報を集約するだけでは、宝の持ち腐れになってしまうので、集約した情報をホームページに掲載するなど方法を検討する必要がある。補助金については、情報の集約・公開の後のステップである。</p> <p>今後は、市内にどのような空き店舗がどの程度あるのか、ま</p>
--	--

	<p>た、空き店舗を活用し、創業を希望する人をどのように増やしていくか具体的に検討いただきたい。</p>
(委 員)	<p>企業誘致制度の周知（雇用促進奨励金）について、周知が十分にできていないと感じた。コロナ禍の状況で新たに製造業などの企業を誘致することは難しいと思うので、時代に合った企業がどのような企業なのか、どのように広報して、誘致していくのかを検討いただきたい。</p>
(委 員)	<p>地域ブランド認証事業の実施について、「認証ブランドシールを新規作成したことに合わせ、制度のPRを強化していく。」と記載があるが、どこに行けば買えるのか、どういう方法で手に入れられるのかなど販売方法まで具体的に決めた方がよい。</p> <p>良いアイデアがあったとしても、市民へ情報を届ける方法を考えないと届かないため、広報の方法については検討いただきたい。</p>
(委 員)	<p>観光PR映像の制作について、かたくりの湯に特化した映像なのか。</p>
(事 務 局)	<p>映像の内容は、かたくりの湯に限定されるものではないが、指標がかたくりの湯に設定されている。</p>
(委 員)	<p>本資料の指標は、今後、変更になるか。</p>
(事 務 局)	<p>本資料の指標は、今年度が最後である。</p> <p>来年度以降は、昨年度、策定した第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の指標を基に進行管理を行う。</p>
(委 員)	<p>観光PRについては、別府温泉などVRを活用した映像が増えているため、活用できるとよい。</p>
(委 員)	<p>ひまわりガーデン武蔵村山の開園について、来場者は市内の人と市外の人どちらが多いのか。また、カウントはどのように行っているのか。</p>
(事 務 局)	<p>市内市外の区別は行っていない。なお、カウントについては、シルバー人材センターが入口でカウントしている。</p>
(委 員)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して市では広報等行っていないが、今年度については、市外の人が多かったと聞いている。</p>
(委 員)	<p>例年、市内商店で使用できるクーポン券の配布等お金を落としてもらえる仕組みづくりをしていたと思うが、今年度は実施しているのか。</p>
(事 務 局)	<p>今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開園等広報を行っていない。そのため、クーポン券の配布についても実施していない。</p>
(委 員)	<p>ひまわりガーデン武蔵村山の開園について、第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の指標にあるか。</p>
(事 務 局)	<p>第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の指標にはなっていない。</p>
(委 員)	<p>市内循環バス路線の検討について、現状は1便当たり6人未満であるが、利便性の高い公共交通網を目指すのであれば、市民アンケートを実施し、ニーズを把握した方がよい。また、乗合タクシーと上手く連携して運営できるとよい。</p> <p>資料に記載のある「見直しのあり方の検討」とは、どういうことか。</p>
(事 務 局)	<p>市内循環バスの見直しを実施するのか又は乗合タクシーを含めて公共交通として見直しを実施するのか、見直しの方法についての検討である。</p>
(委 員)	<p>空き店舗活性化事業への支援については、空き家は対象外</p>

	<p>か。</p> <p>(事務局) 空き家は対象外である。</p> <p>(委員) 農業関係について、農業と福祉の連携をしたいと思っているが、上手く連携ができていない。全国的には、上手く連携しているケースも多いため、市内の福祉事業所と農家の方との連携ができればよいと思う。</p> <p>(委員) 広報戦略(シティプロモーション戦略)の策定について、策定されているが、各施策の広報ができていない。市の施策を多くの方に知ってもらって、市の活性化に繋げていくために広報戦略を基に庁内で連携して広報を進めていければ良いと思う。</p> <p>(事務局) 広報部門を中心に市報等広報の方法については、変わってきている。各所管課に広報の方法について情報提供等を行うことは可能であると考えている。</p> <p>(委員) 市内循環バス路線の検討について、昼間は確かに空いているが、夕方から夜にかけては混んでいる。そのため、使う路線、使う時間帯、使う人が限られていると感じる。ニーズはあるので、公共交通のあり方を改めて検討することは良いことである。</p> <p>(委員) 戦略的な情報発信について、目標値達成への課題が「特になし」となっている。各事業の広報ができていないのであれば、認識が甘いと感じた。目標値自体は達成しているが、追加で実施することはないのかと思ってしまった。今後は、広報部門を中心に広報のあり方を全庁的に広げていくべきと考える。</p> <p>(事務局) 所管課としては、目標値を達成しているため、課題は「特になし」と回答している。達成したら終わりではなく、次にどうするかと検討することは必要だと思うので、表現については、検討したい。</p> <p>(委員) 各所管課で事業実施を検討する際には、広報の仕方についても検討していくべきである。</p> <p>基本目標 2</p> <p>(委員) 市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進について、第三次男女共同参画計画にも記載があったと思うが、第四次男女共同参画計画においても重点事業として記載があるのか。また、順調に実施できそうなのか。</p> <p>(事務局) 第四次男女共同参画計画においても重点事業として記載されている。また、制度自体の構築をする予定であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で、現状は着手できていないと聞いている。</p> <p>基本目標 3</p> <p>(委員) 乗合タクシーの位置付けを教えてほしい。乗合タクシーを充実させての方が良いと考えている。</p> <p>(事務局) 乗合タクシーの位置付けは、市内循環バスのルートとなっていない交通網の弱い地域をカバーするためのものである。そのため、市内循環バスのルートを乗合タクシーが走行することは想定していないと考えている。</p> <p>(委員) 乗合タクシーの利用実績を教えてほしい。</p> <p>(事務局) 令和元年度実績は、3,498人である。前年度と比較すると減少している。</p> <p>また、利用者数については、実人数ではない。一人の方が複</p>
--	---

	<p>数回乗車していることもあるため、乗車回数が多い方が乗車しなくなると実績数が大きく減少することがある。</p> <p>(委員) 中原地域では、市役所や総合センターへ向かうバスがない。バスのルートになっているため、乗合タクシーが利用できないが、市の施設へ行くことができないから不便である。そういった地域も乗車できるようにすれば、利用者は増えると思う。</p> <p>(事務局) 中原地域については、以前から話があったため、今後、市内循環バスのルート等を検討する際には、検討するものと考えているが、所管課にはお伝えする。</p> <p>(委員) 20歳代の転出者割合について、若者の力はまちづくりにとって大切だと思う。若者の意見を吸い上げる仕組みがあった方がよい。小平市が長期総合計画のパブリックコメントをラインでも実施している。若者の意見が相当集まったと聞いているため、取り入れてみても良いと思う。御検討いただきたい。</p> <p>(委員) 事業が多いため、一つひとつ確認していくと、気付くこともあるかと思うが、時間の制約もあるため、他に御意見等がある場合には、事務局にメールを送付いただきたい。 また、集約した意見については、可能な範囲で構わないので、検討内容等を委員へフィードバックいただきたい。</p> <p>(事務局) 承知した。</p> <p>(委員) 色々議論があったが、各所管課が横に繋がっていき、お互いにどう考えているのかを共有し、協働して事業を進めていければより効果的になる事業が多いと感じた。 また、官民連携では、市民の生活の中で何が課題になっているのか、どの事業にどんな意見があるのかといったことを把握していくと、より良いアイデアが出てくるかもしれないし、協働で地域を作っていく可能性がある事業も多々あった。各所管課へ報告する際には、伝えてほしい。 広報の仕方についてももったいないと思うものが多い。SNSを活用しているが、発信するだけでなくその後どうなったのかなどきめ細やかなフォローを行うことで、地域をアピールできると思う。 市民の方は、常に行政が何をしているかアンテナを張っているわけではないので、魅力教え隊の方などに行政から情報発信をすると、隊員の方が発信しようと思ってもらえる。きっかけがないと、魅力教え隊の方もどんな情報を発信したらよいか分からないこともあると思う。魅力教え隊にどういう情報を発信し、どういう情報を拡散してもらおうかを戦略的にイメージができれば、拡散してもらえるし、市内外問わず情報をキャッチすることができるのではないかと思う。 今後の課題として、検討いただきたい。</p> <p>議題4 その他</p> <p>(事務局) 他に御意見がある場合はメールで集約する旨説明した。 また、会議録の確認方法について説明した。</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(委員) 特になし。</p>
--	---

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-left: 20px;"></div>	傍聴者： <u> 0 </u> 人
-----------------	---	---------------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：)
------------------	---

庶務担当課	企画財務部 企画政策課(内線：374)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)